

国立大学法人京都大学の中期目標（又は中期計画）新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p>【23】 産官学連携本部において、研究成果に基づき得られた特許の利用促進や学内シーズに基づくベンチャー支援を通じて研究成果の社会還元を促進することで、社会変革を促すイノベーションに貢献する。【指定国構想】⑮</p>	<p>【23】 成長戦略本部において、研究成果に基づき得られた特許の利用促進や学内シーズに基づくベンチャー支援を通じて研究成果の社会還元を促進することで、社会変革を促すイノベーションに貢献する。【指定国構想】⑮</p>	<p>○研究成果の活用を一体的に推進する組織として、産官学連携本部とオープンイノベーション機構等を統合し、成長戦略本部へ組織改組するため</p>
<p>【27】 個々の教員が民間企業との間で行う共同研究に加え、「オープンイノベーション機構」等を通じて、本学と民間企業等との間で締結される組織対組織の包括的な協定に基づく共同研究を促進することで、大型共同研究を増加させる。【指定国構想】⑰</p>	<p>【27】 個々の教員が民間企業との間で行う共同研究に加え、「成長戦略本部」等を通じて、本学と民間企業等との間で締結される組織対組織の包括的な協定に基づく共同研究を促進することで、大型共同研究を増加させる。【指定国構想】⑰</p>	<p>○研究成果の活用を一体的に推進する組織として、産官学連携本部とオープンイノベーション機構等を統合し、成長戦略本部へ組織改組するため</p>
<p>【29】 先端医療研究開発機構（iACT）を中心として、臨床研究支援機能の充実・強化を図るとともに、産官学連携本部と密に連携して、企業等と共同で、医学部附属病院が有する次世代医療・iPS細胞治療研究センター（Ki-CONNECT）の機能や、クリニカルバイオリソース（高品質なヒト生体試料及び付随する関連診療情報）、医療リアルワールドデータ（臨床現場</p>	<p>【29】 先端医療研究開発機構（iACT）を中心として、臨床研究支援機能の充実・強化を図るとともに、成長戦略本部と密に連携して、企業等と共同で、医学部附属病院が有する次世代医療・iPS細胞治療研究センター（Ki-CONNECT）の機能や、クリニカルバイオリソース（高品質なヒト生体試料及び付随する関連診療情報）、医療リアルワールドデータ</p>	<p>○研究成果の活用を一体的に推進する組織として、産官学連携本部とオープンイノベーション機構等を統合し、成長戦略本部へ組織改組するため</p>

<p>で得られる診療行為に基づく情報を集めた医療データ)などの様々なリソースを活用した事業を展開する。これらにより、先進的な治験や臨床研究の実実施数増加、クリニカルバイオリソース及び医療リアルワールドデータの利活用促進による積極的な外部資金獲得を講じて、医学部附属病院の財務基盤強化を進める。⑳</p> <p>【39】 個々の教員が民間企業との間で行う共同研究に加え、「<u>オープンイノベーション機構</u>」等を通じて、本学と民間企業等との間で締結される組織対組織の包括的な協定に基づく共同研究を促進することで、大型共同研究を増加させる。【指定国構想】㉓（再掲）</p>	<p>(臨床現場で得られる診療行為に基づく情報を集めた医療データ)などの様々なリソースを活用した事業を展開する。これらにより、先進的な治験や臨床研究の実実施数増加、クリニカルバイオリソース及び医療リアルワールドデータの利活用促進による積極的な外部資金獲得を講じて、医学部附属病院の財務基盤強化を進める。⑳</p> <p>【39】 個々の教員が民間企業との間で行う共同研究に加え、「<u>成長戦略本部</u>」等を通じて、本学と民間企業等との間で締結される組織対組織の包括的な協定に基づく共同研究を促進することで、大型共同研究を増加させる。【指定国構想】㉓（再掲）</p>	<p>○研究成果の活用を一体的に推進する組織として、産官学連携本部とオープンイノベーション機構等を統合し、成長戦略本部へ組織改組するため</p>
---	---	--